



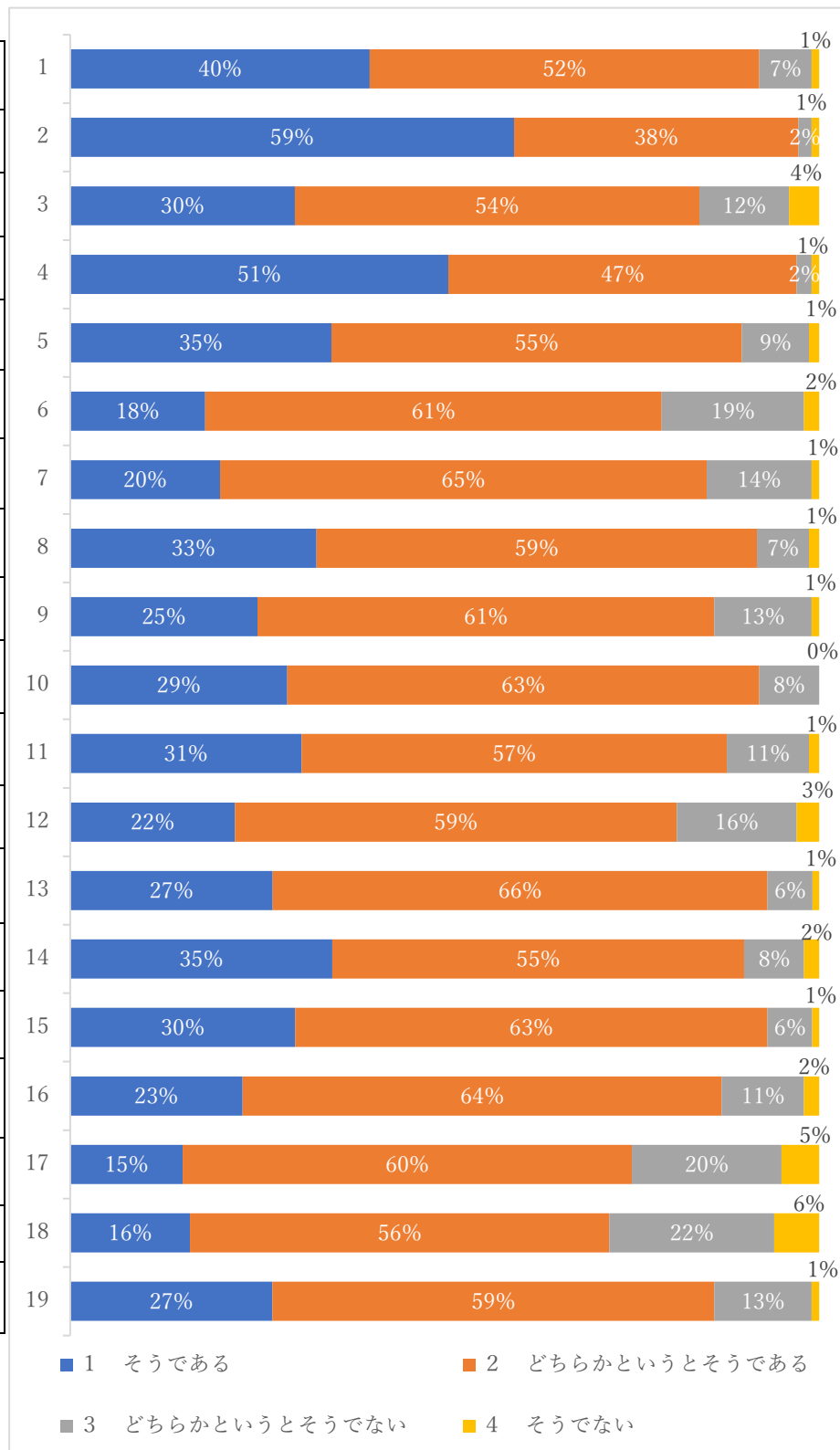
ふたすぎ

亘理町立亘理小学校
〈学校だより〉
令和7年2月10日

学校評価アンケート（保護者）集計結果

- 1 アンケート期間 令和6年11月18日～令和6年11月27日
- 2 対象数 亘理町立亘理小学校 保護者 467名
- 3 回収数 346名
- 4 回収率 74.7%

1 学校は、ホームページや各種便りなどを通して、子供たちの様子や学校教育目標等を伝えている。
2 学校は、保護者のみなさんが学校での子供たちの様子を見る機会を適切に設定し、公開している。
3 学校は、施設や設備を適切に整備し、子供たちが安全に利用できるように配慮している。
4 学校は、避難訓練や防災に関する学習を計画的に行い、日頃から事故や災害などに対する指導を行っている。
5 学校は、子供たちの実態と社会の状況などを踏まえ、学習内容や行事等を適切に計画し、実施している。
6 学校は、一人一人に応じたきめ細やかな指導を工夫し、基礎的・基本的な学習の内容の定着を図っている。
7 学校は、子供たちの実態を把握し、分かりやすい授業を工夫している。
8 学校は、道徳の授業やあいさつ運動などの実践活動により、心を育てる指導を行っている。
9 学校は、授業や行事（部活動を含む）などの工夫により、積極的に子供たちの体力向上に努めている。
10 学校は、日頃から望ましい生活習慣を身に付けるための働きかけや指導を適切に行っている。
11 学校は、登下校や学校内外での安全に関する指導をしっかりと行っている。
12 学校は、子供たちへの規範意識の指導や子供たちの悩みに向き合う相談などに細やかに対応している。
13 学校は、清掃、緑化活動など環境に関する活動を通して、身の回りの環境を大切にす態度の育成に取り組んでいる。
14 学校は、図書室の環境を整えたり、図書を活用した学習活動をしたりして、子供たちの読書習慣を定着させている。
15 学校は、「はやね・はやおき・あさごはん」や「食育」についての指導を行い、子供たちの健康増進に取り組んでいる。
16 学校は、地域との新たな連携（地域学校協働本部、学校運営協議会等）をしながら教育活動に取り組んでいる。
17 学校は、子供たちが互いに認め合える関係づくりに努め、いじめの起きにくい環境づくりを行なっている。
18 学校は、生活に関するアンケート調査を定期的に行い、いじめや悩みに素早く気付いて対応している。
19 学校は、子供や家庭との信頼関係を築き、個人面談や三者面談などの相談しやすい雰囲気づくりに努めている。



保護者アンケート結果と考察

19項目中9項目で「そうである」「どちらかといえばそうである」という肯定的な回答の割合が90%以上となりました。

「そうである」「どちらかといえばそうである」という肯定的な回答が93%以上だった項目

2 開かれた学校づくり（97%）	4 安全管理（98%）
13 生徒指導（93%）	15 健やかな体（93%）

◎2 開かれた学校づくり

学校からの情報発信や授業参観等につぎまして、たくさんの肯定的なご意見ありがとうございました。今後もホームページ等での情報公開や参観の機会を設け、子供たちの学校での頑張りをお伝えしていきたいと考えます。

◎4 安全管理

避難訓練や防災に関する学習、事故や災害に対する指導に関して、肯定的なご意見をいただきました。「自分の身を守るための行動」については子供たちの回答でも97%でした。今後とも、ご家庭と連携を図りながら子供たちの安全意識を高められるよう、指導していきます。

3「施設・設備・安全」については、84%でした。校舎等の老朽化は否めませんが、月に一度全職員で行っている安全点検に加え、PTAの指導委員会の皆様との合同安全点検も実施し、力を入れております。子供たちが安心して、安全な学校生活を送ることができるよう、今後も取組を続けてまいります。

◎13 生徒指導 15 健やかな体

13「身の周りの環境を大切にする」、15「健康増進」の項目が93%でした。清掃、健康や食についての指導は、担任はもちろんですが、養護教諭や栄養教諭なども各学級で行っております。また、全校一斉で水曜日に縄跳びをする「ぴょんぴょんタイム」を実施し、一年間継続して運動に取り組む習慣を身に付ける取組を行っています。今後も、学習や生活の基盤である健康増進に努めてまいります。



【ぴょんぴょんタイムの様子】

「そうである」「どちらかといえばそうである」という肯定的な回答の割合が85%未満だった項目

3 施設・設備・安全（84%）	6 確かな学力（79%）	7 確かな学力（84%）
12 生徒指導（81%）	17 いじめ対策（75%）	18 いじめ対策（72%）

▲6、7 確かな学力

「一人一人に応じたきめ細やかな指導を工夫し、基礎的・基本的な学習の内容の定着を図っている」という項目で低い数値となりました。今年度は毎時間の授業の中で一人一人がどこまでねらいに達しているかを見取することに重点を置いて指導を続けてきたところですので、更に取組を進めてまいります。タブレットを活用した学習指導も定着し、12月に行った標準学力検査では、多くの学年で昨年度を上回る成果が出ております。今後も個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向けて学習指導を続けてまいります。

▲12 生徒指導、17、18 いじめ対策

特に18の「いじめや悩みに素早く気付いて対応する」に関しては72%と1番低い数値となりました。また、関連して12「悩みに向き合う相談」についても低い数値でした。月に一度のアンケートに加え、担任が子供たちに直接話を聞いたり、話をしたりしていますが、より子供に向き合う必要があると感じます。そこで、会議の精選や時程の工夫などの取組を行い、より子供たちの心に寄り添う時間を確保するとともに、日常における一人一人の見取りや声掛けを大切にしていきます。